

フォレスターうじ 会報

森林公園に緑の募金による苗木を 10 本植樹しました。

森林ボランティア フォレスターうじ ホームページ:<https://forester.foresteruji.org>



二月定例活動

緑の募金による植樹、他
 活動日 二月十六日(日) 晴
 活動時間 九時三十分〜十四時三十分
 活動場所 天ヶ瀬森林公園
 参加者 会員十三名 一日体験一名

週末の雨予報とはうって変わり、夜半のうちに前線が通過して当日は朝から曇り空、三月上旬並みの暖かさとなり、活動をしやすい天気となりました。朝礼が始まり林会長から挨拶と伝達事項を伝え出席の確認、加地さんによる安全十ヶ条を唱和、水野さんによるストレッチを意識した体操を行い、作業に入りました。

久保田さん、小林さん達はフォレスターうじ広場にて木工作品「鯉のぼり」の下準備、椎茸の植菌です。

他の会員はフォレスターうじの森にて、緑の募金による苗木(ハシバミ、コウゾ、クロモジ、ミツバツツジ等)十本を、成長した時の樹冠と多様性を想像しながら配置を決めて植樹を行い、防鹿用フェンスで苗木を囲みました。

作業をしていたら、ランニング中のアメリカ人(ジャスミンさん)が作業体験したいと申し出られ、Welcome! 飛び入り一日体験となりました。ジャスミンさんは日本留学中で宇治市に滞在されていて、自然が好きでこの森林公園にもよく訪れており、日本語も流暢に話され理解が早くすぐに作業に溶け込み、お昼も用意されたカップ麺を食べながら皆さんと会話をされていました。

昼休み中に木曾さん松川さんと一緒に、水が出なくなつた水道の点検に向かうと道管が外れているのを発見し、工具で修繕を行うと蛇口から水が出るようになり良かったです。

午後からは植樹の囲い作業もほぼ終わり、京大戦の森へ移動し、今後の作業について林会長から説明をされ、フォレスターうじ広場に戻りました。

木工作品の準備も親子の鯉を久保さん達が十二組ほど、椎茸も小林さん達が十二本ほど植菌され、順調に作業を進められました。

終礼で一日体験に参加されたジャスミンさんの日本語の感想を木曾さんが英語?で通訳を行い、とても和やかな雰囲気の中で解散となりました。今回も皆さんがケガもなく楽しく作業を無事に終えられてとてもso happyでした。

(記 上田 匡慶)



2/16 苗木を植樹するための穴を掘る一日体験者



2/16 植樹した苗木に防鹿用フェンスを設置

二月特別活動

どんぐりプロジェクトの森への苗木の植樹
 活動日 二月二日(日) 十三時〜十五時 晴
 活動場所 アクトパル宇治
 参加者 会員二名 アクトパル宇治二名

今回は一緒に植樹を希望されるご家族がいなかったので、昨年十一月宇治環境フェスタに持ち込まれた苗木を中心に十三鉢を植樹した。ガレ場で植栽には不向きな圃場のため、石を除き鉢の土を落とさないよう植え、多めの腐葉土と肥料を蒔き、竹製の目印を立てて水を散布した。途中からアクトパル宇治の職員二名が加わり一連の作業は完了した。

その後、防鹿ネットがたるんでいたので支柱を起し、上部のロープを締め直し、鹿の嫌がる忌避剤を散布した。

終了後、職員との雑談の中でも、鹿の食害と植樹した苗木の活着率の悪さが共通の課題であることを確認した。また、ネットのたるみは山手からの土砂等の重みも原因で、鹿の防鹿ネット侵入を防ぐ為にもネットの嵩上げが必要と感じた。天ヶ瀬森林公園の京都大戦の森でのネット対策を参考にしたい。

(記 新宮 邦春)



2/2 アクトパル宇治のどんぐりプロジェクトの森に植樹 (写真提供 アクトパル宇治)

外部行事参加報告

令和六年度 森林ボランティア交流会

日時 二月六日(木) 九時半～十二時半

場所 山城町森林公園

主催 京都府山城広域振興局

山城モデルフォレスト推進協議会

参加 六団体十二名 山城広域振興局、他六名

(うち本会から三名)

山城町森林公園の中を流れる鳴子川に氷が張っていた。この冬最大の寒波、身も川も凍ってしまった。しかし、交流会を行なう休養施設はエアコン完備、床には携帯の畳、本当に助かった。

交流会では資材を運搬する時の手段の問題や運営を賄う会費の金額など、具体的な意見交換があった。会員の確保などは共有課題である。

安全講習会は無理のない作業計画の作成、作業前の打ち合わせ、伐採する時は樹高二倍の範囲に入らない、安全確認の徹底など、本会の安全十ヶ条と同じことの指摘を受けた。

山城町森林組合の勝木氏によるヒノキの伐倒実演及び伐倒実習はわかりやすく説明をされ、繰り返し講習を受けることは大事と実感した。

最後にみどりの会「山城」の炭窯を見学した。昨年十二月に四十四回目の竹炭づくりを実施したとこと。それをグラフにして管理されていることに感心した。

(記 木曾 宗統)



2/8 椎茸植菌体験
大人も子供も一緒に
(写真 岡本浩一)

二月特別活動

e コットカフェに協力

「森のいい話」シリーズ第三弾

「椎茸植菌体験と森と水のいい話」

活動日時 二月八日(土) 九時～十二時 雪

活動場所 生涯学習センター

参加者 会員六名 e コット宇治二名

宇治市環境企画課一名

講演担当 中佐 昌弘

椎茸植菌担当 新宮 邦春

受講者 講演十六名 椎茸植菌体験二十名

朝起きてびっくり、一面雪景色。八時過ぎ環境企画課斎藤さんから電話があったが、昼前にはお天気が回復するとの予報を信じ、イベントを決定した。どうなるか案じていたが、欠席者は思っていたより少なく五名、皆さんの熱意を感じた。

今回のe コットカフェも地球温暖化防止の森林づくりの大事さを市民の皆さんに啓発するため、宇治市、e コット宇治と協力して開催した。

前半は森のいい話の第三弾として森と水の関係について話をした。京都の町の下に愛宕山の標高ほどの深さがある地下水がある話や海水の蒸発から森の木々が地下水を貯めてそして川に流れ、また海水の蒸発と森の水の循環のことに納得してくれ、わかりやすいと喜んでくれた。もちろん、フォレスタージュの会員勧誘もした。

後半は椎茸植菌体験、今回はパワーポイントを使って説明をした。実際には会員の我々が手ほどきしてひとりひとり体験してもらいながら説明したほうが簡単だが、安全第一に作業してもらうためにも繰り返し説明することは大事だ。子供も女性も初めて持つ電動ドリルで嬉しそうに作業してくれた。

(記 木曾 宗統)

今後の活動の案内

令和七年四月以降の予定です。

四月定例活動

四月二十日(日) 天ヶ瀬森林公園

・令和六年度総会、安全講習会

四月特別活動

四月二十六日(土) 宇治市植物公園

・緑のウォークラリーに協力

会員募集のお知らせ

フォレスタージュはいつでも会員募集中。

先ずは一日体験からどうぞ。事務局までご連絡ください。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

編集後記

二月の定例活動はびっくり、アメリカ人の女性が我々のボランティア活動に参加した。そして、継続して参加してみたいと言う。彼女に詳しい話を聞き出せないもかしさを感じたが、三月も参加するなら宇治駅まで迎えに行くからねと約束した。会員不足で悩んでいるのにこんなうれしいことはない。

終礼の時の彼女の感想を私が英語通訳したら、会員全員そして彼女も笑ってくれた。楽しい一日だった。

(会報担当 木曾 宗統)
(写真担当 田中 一夫)

森林ボランティア フォレスタージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三

